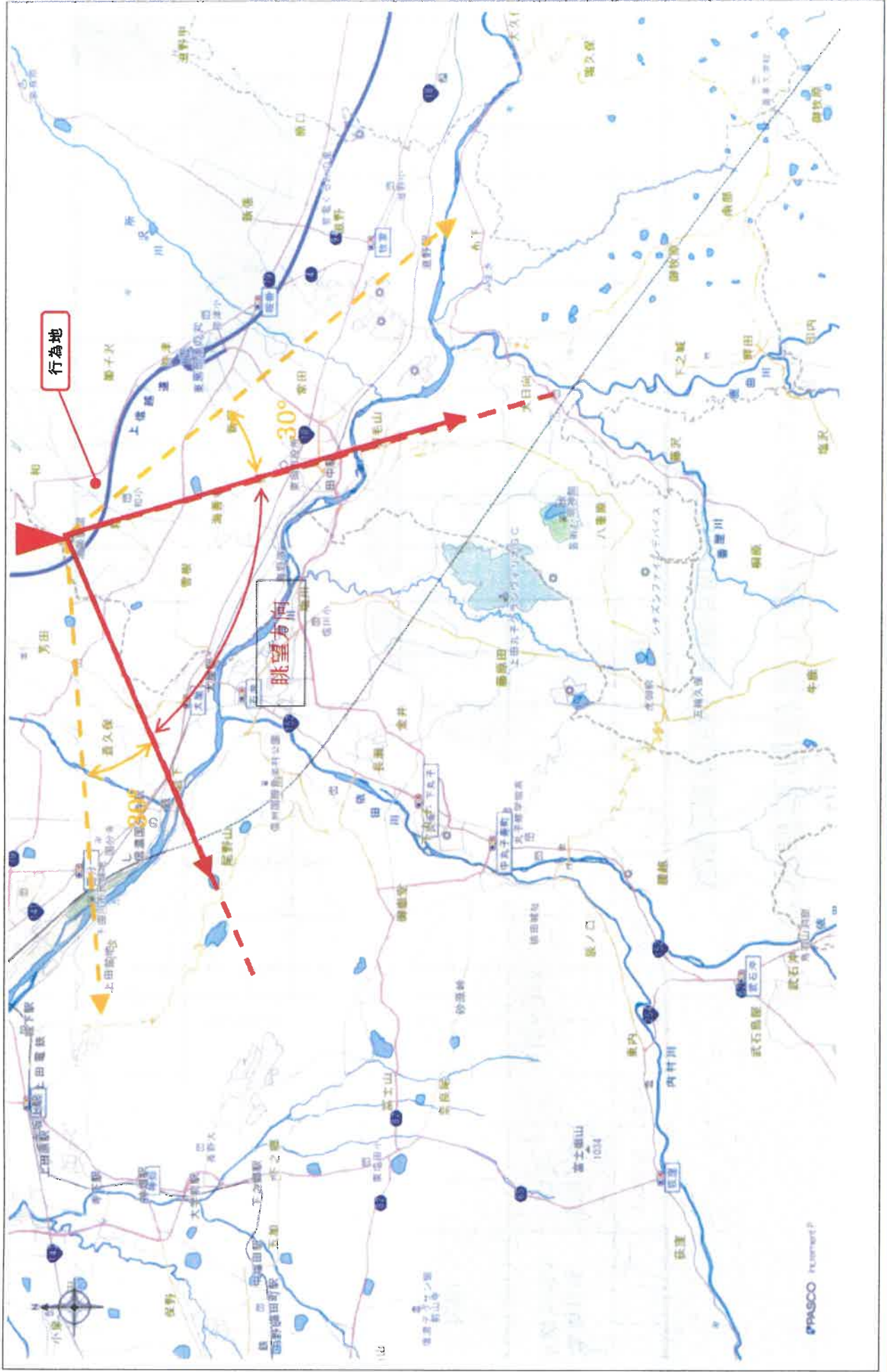


行為地の中心から行為地の対角線方向の長さ × 60
 $152\text{m} \times 60 = 9.12\text{ km}$

行為地

眺望点 湯楽里館

地図 (眺望方向)



眺望点 湯楽里館

0203.pdf

写真 (眺望方向)

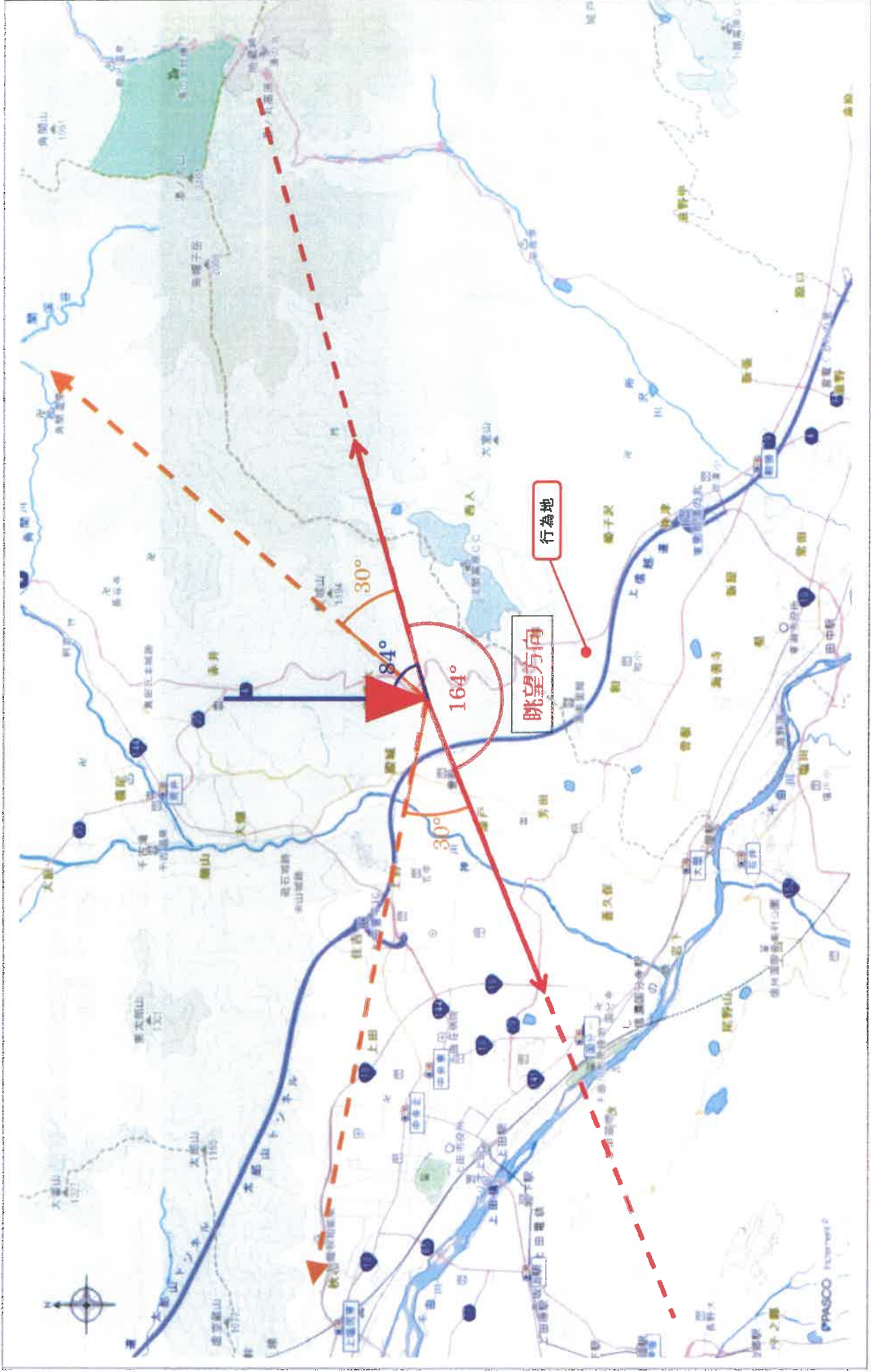


行為地 視認できません

※シミュレーション範囲内に眺望点はありませんが、眺望点の眺望方向からは外れています。

眺望点 信州稲倉の棚 大曲

地図 (眺望方向)



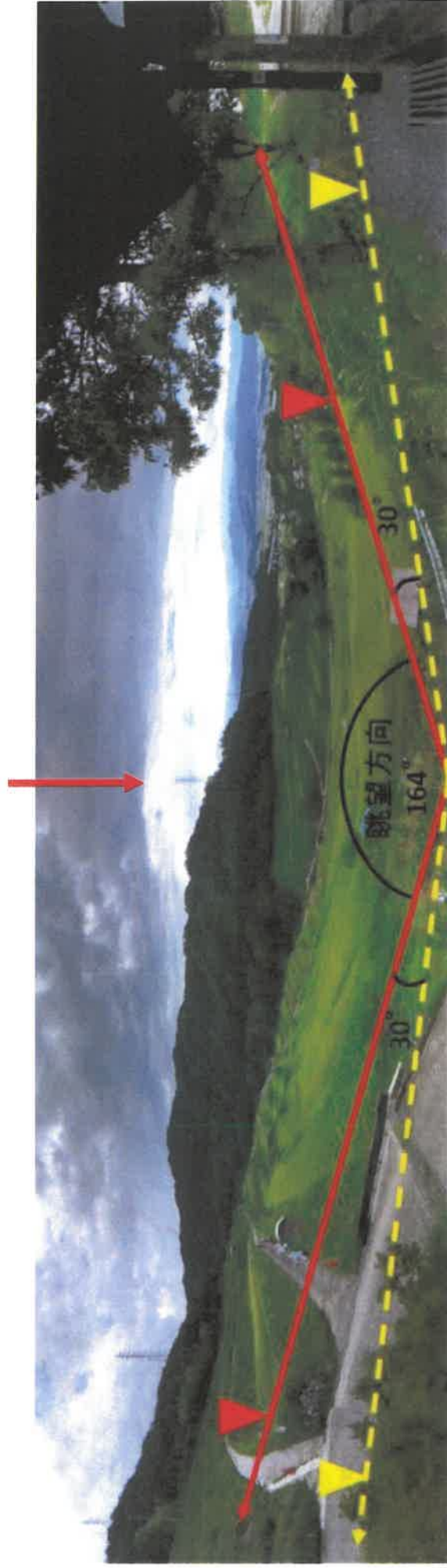
眺望点 信州稲倉の棚 大曲

0201.pdf

写真 (眺望方向)

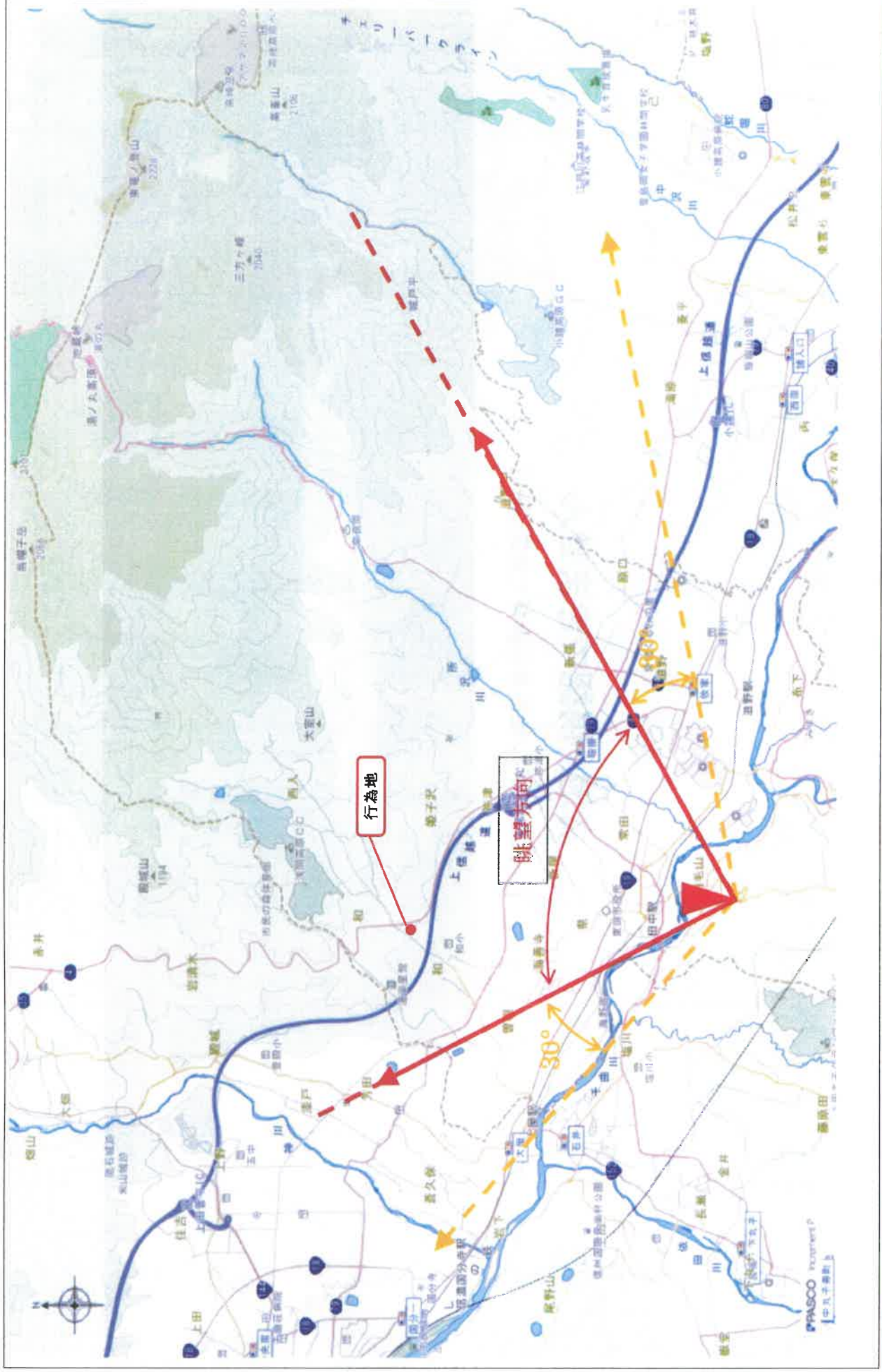
行為地 視認できません

※眺望点からは、地形及び森林で見通し不可



眺望点 県道丸子北御牧東部線

地図 (眺望方向)

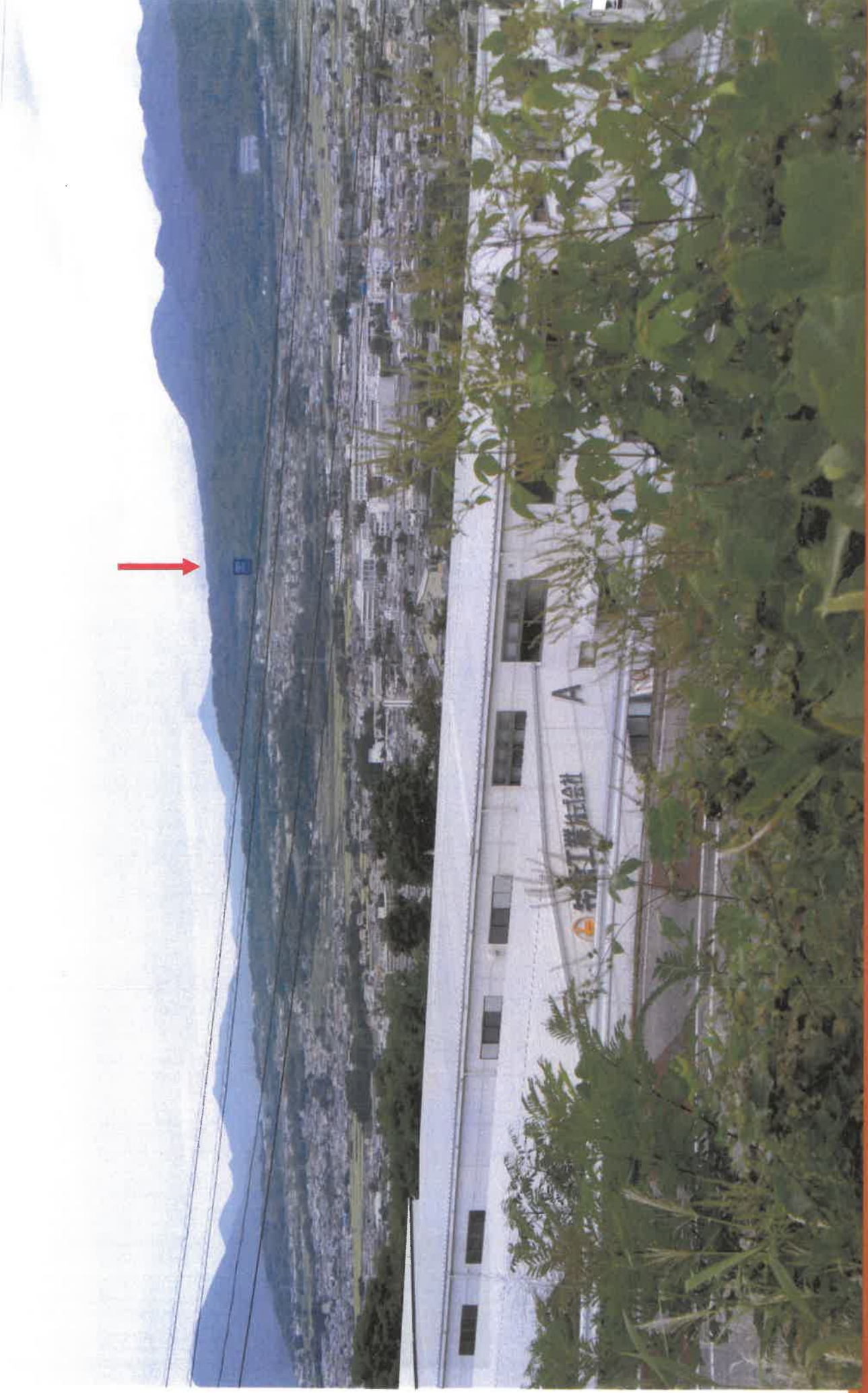


眺望点 県道丸子北御牧東部線

写真 (眺望方向)

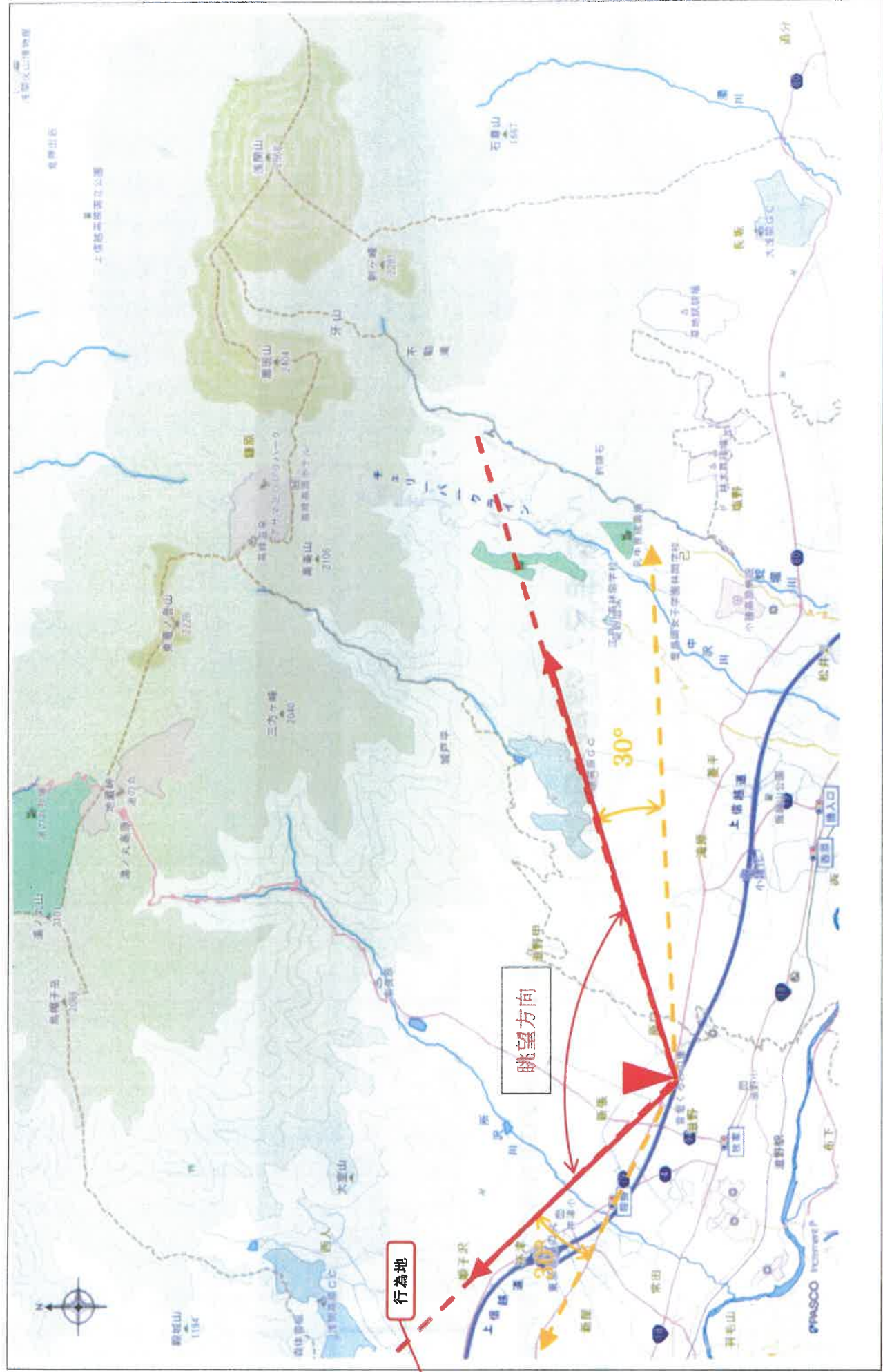


眺望点 県道丸子北御牧東部線



眺望点 道の駅 雷電くるみの里

地図 (眺望方向)



眺望点 道の駅 雷電くるみの里

0204.pdf

写真（眺望方向）

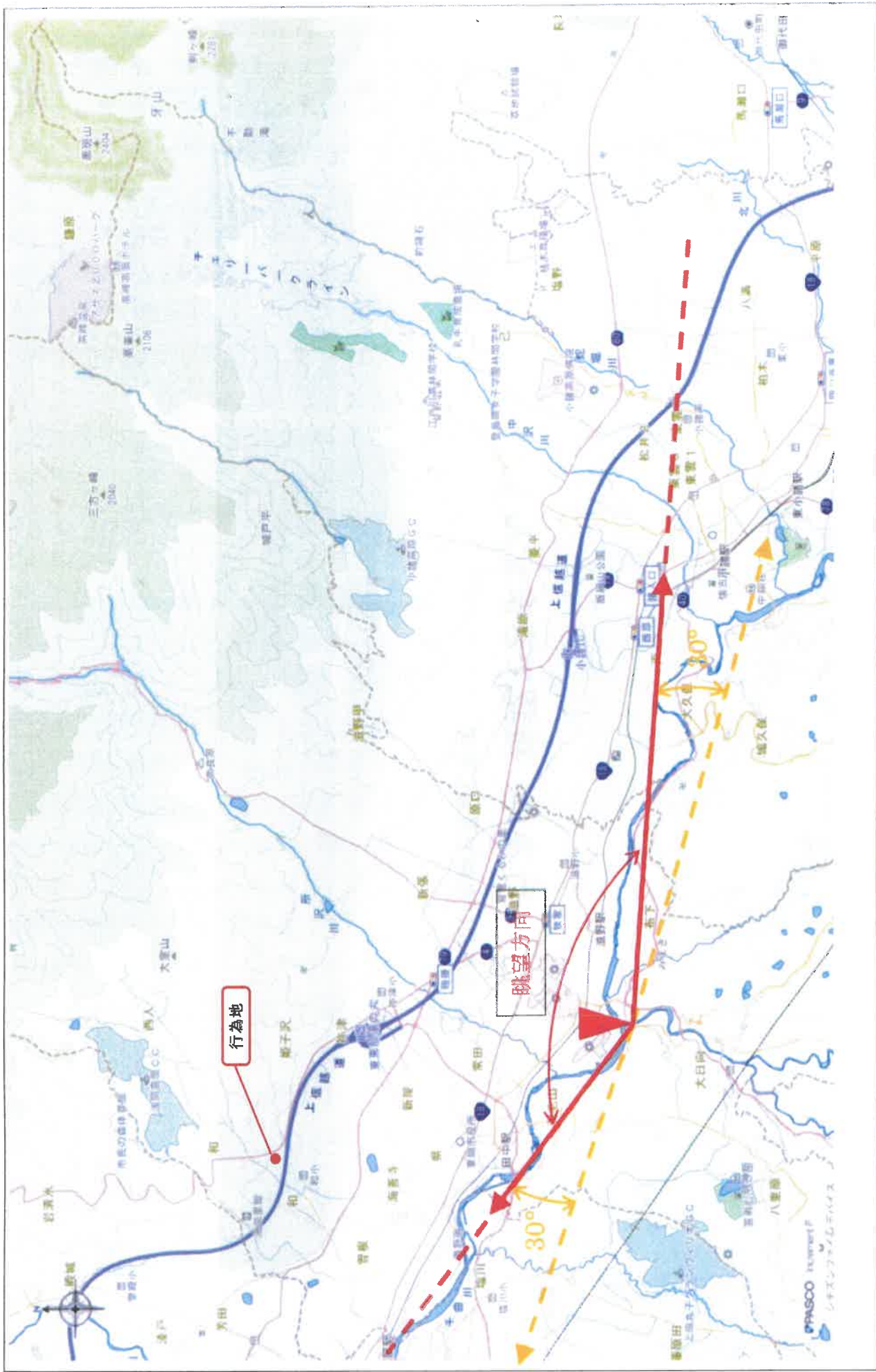
行為地 視認できません

※眺望点からは、地形及び森林で見通し不可



眺望点 みまき大橋

地図 (眺望方向)



眺望点 みまき大橋

0205.pdf

写真 (眺望方向)

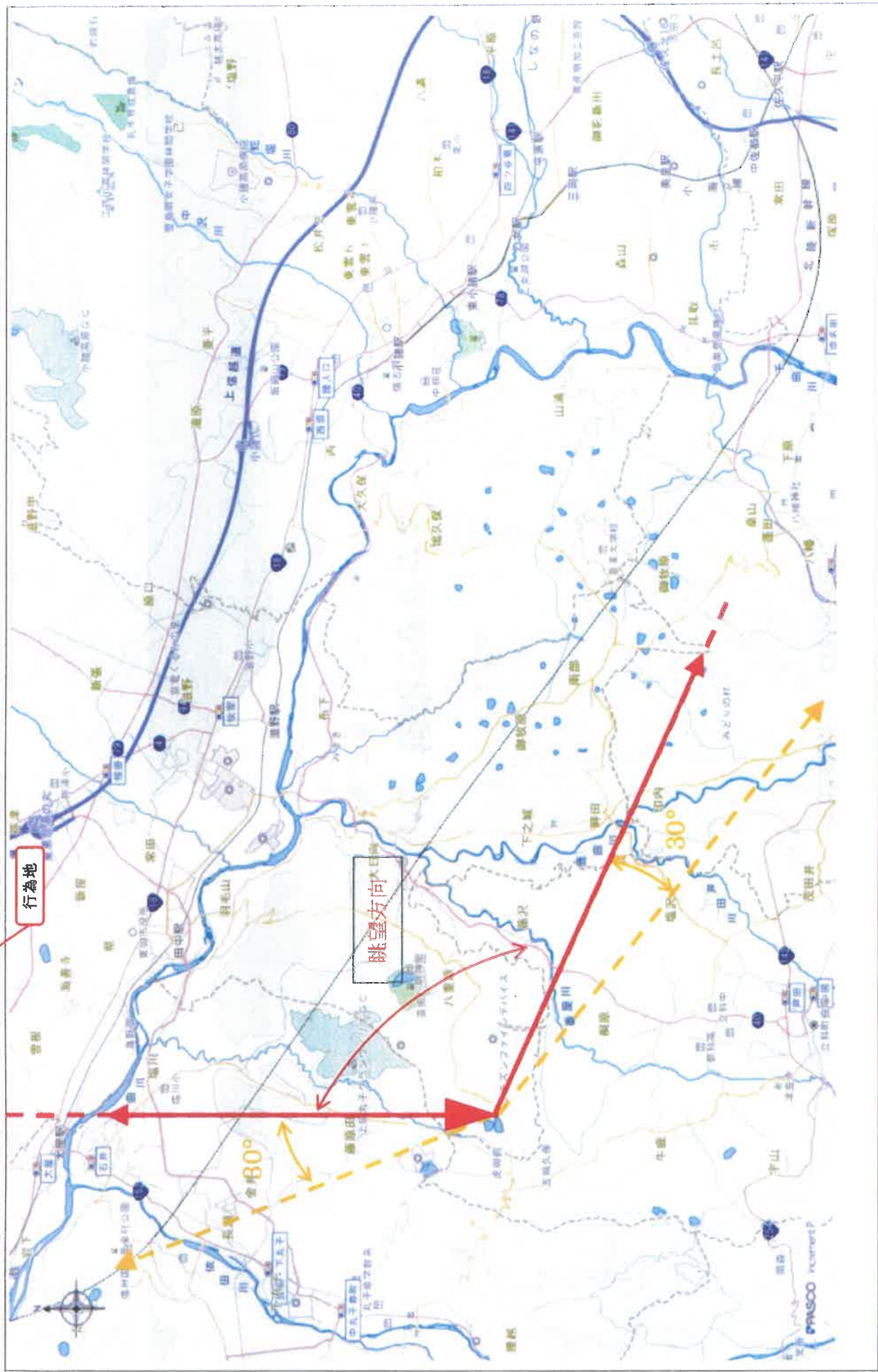
行為地 視認できません

※眺望点からは、地形及び森林で見通し不可



眺望点 田楽池

地図 (眺望方向)



眺望点 田楽池

0206.pdf

写真 (眺望方向)

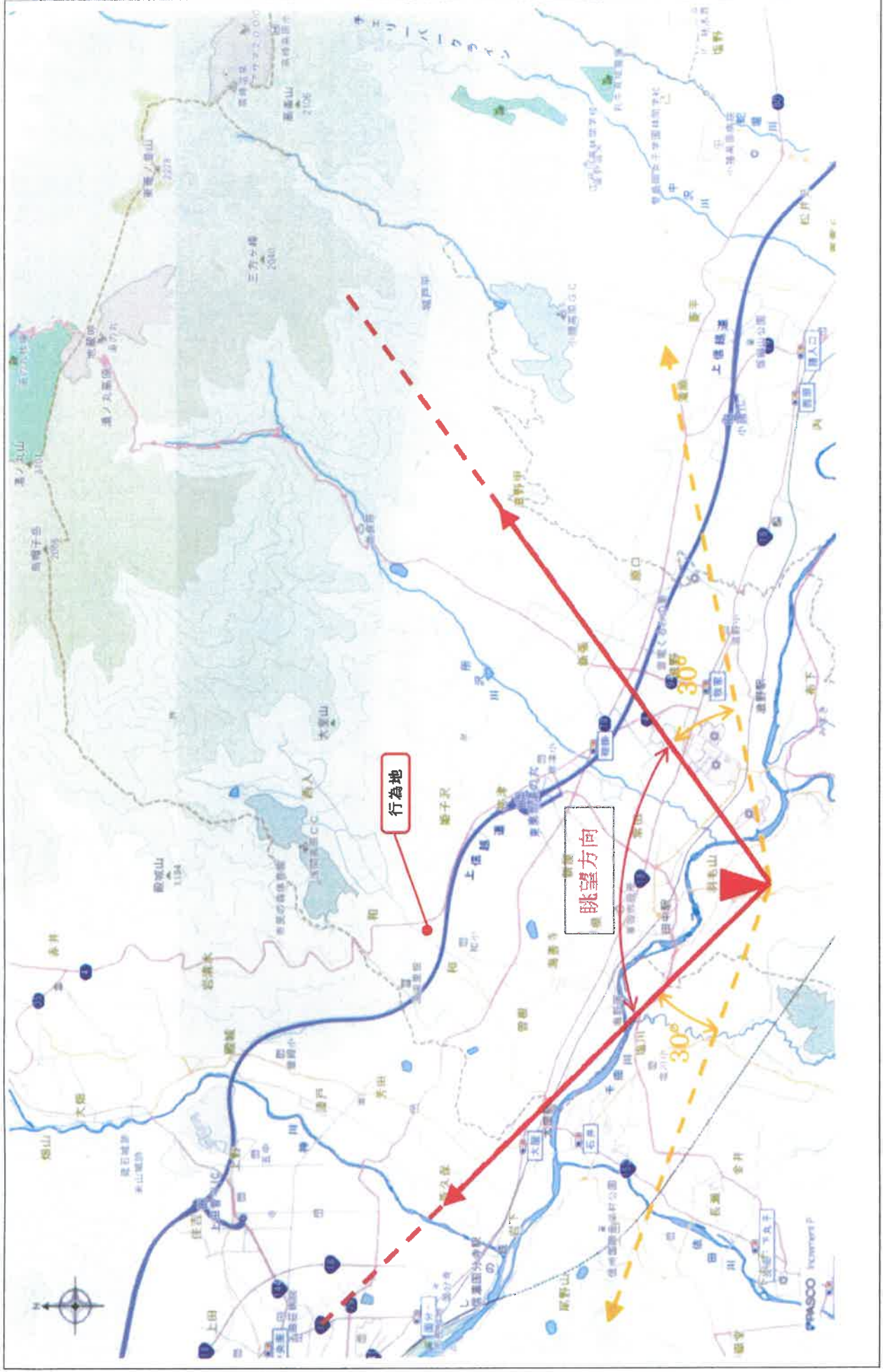
行為地 視認できません

※眺望点からは、地形及び森林で見通し不可



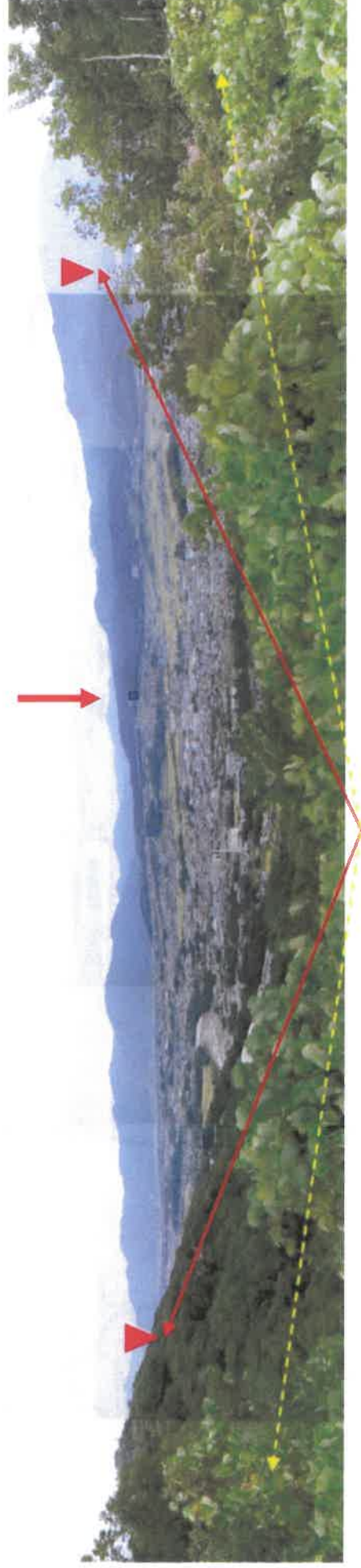
眺望点 外山城跡

地図 (眺望方向)



眺望点 外山城跡


写真 (眺望方向)



0207.pdf

(参考様式第1号)

眺望点関係者説明状況報告書


説明者	氏名	株式会社太陽電気工事 (担当者 )		
	住所	長野市大橋南 2-9-1		
眺望点	眺望区域	浅間山麓景観育成重点地域		
	眺望点位置	県道丸子東部北御牧線 外山城跡		
説明を行った関係者等		東御市役所建設課住宅係		
実施日時		2022年11月8日(火)16時	説明方法	訪問により説明
出された意見及び対応 (欄が不足する場合は別紙により対応してください)				
番号	意見	配慮・見解		
	特になし			

※注1 説明に使用した書類を添付してください。

※注2 説明を複数行った場合は、それぞれ本報告書を作成してください。

(参考様式第2号)

行為地周辺地区等説明状況報告書

説明者	氏名	株式会社太陽電気工事 (担当者 )
	住所	長野市大橋南 2-9-1
説明対象とした範囲 (自治会、地区名等) 及び戸数	東上田地区	
上記を説明対象とした理由	行為地が東上田地区であり、事業説明があると判断した	
住民説明等の方法	回覧	
実施日時	2022年8月下旬	
参加又は実施者数 (人もしくは戸数)	東上田地区	
出された意見及び対応 (欄が不足する場合は別紙により対応してください)		
番号	意見	配慮・見解
	特になし	

※注1 説明に使用した書類を添付してください。

※注2 説明を複数行った場合は、それぞれ本報告書を作成してください。

太陽光発電施設の設置にあたっての配慮事項

項目		配慮事項	配慮した内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	樹木の伐採は最小限。 周辺の土地との高低差をつけないため、必要最小限での粗造成。2か所約264㎡(高さ約2.4m)を平らに造成を行う (22m×6m=132㎡×2か所=264㎡)
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、必要に応じて完成予想図の作成(シミュレーション)等の実施を検討する。	指定された眺望点からの完成予定図を作成し、関係者へ説明を行った。
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	フェンスは境界(道路沿い)か1m離して設置する。太陽電池モジュールは境界からなるべく後退させる。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	土地全体に配置しないように、設置個所を最小限にする。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	架台の高さは必要以上に高くしないように設置する。 (モジュール高さ約2400mm予定)
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	架台の高さは必要以上に高くしないように設置する。 (モジュール高さ約2400mm予定)
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	設置は南向き揃える。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	設置は南向き揃える。
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	フェンスは境界(道路沿い)か1m離して設置する。太陽電池モジュールは境界からなるべく後退させる。

項目		配慮事項	配慮した内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を 施す等、太陽光の反射を低減する対策を 行う。また、素材の結晶が目立たないもの を選択する。	素材の結晶が目立たないもの 低反射の素材を選択する。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩 度の目立たないものとする。	マンセル値 5PB1/2～5PB1/4 を 使用する（黒又は濃紺）
	フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	低反射の素材を使用する。
		(2) 太陽電池モジュールと同 系色を用いる。	同系色ではないが、低反射の 素材を使用する。
付属設備	(1) フェンス等については、色彩、形態・意 匠に配慮する。	フェンス等は周辺に馴染むよ うに色を控えめのものを選定 して利用する。	
	(2) 電柱電線類については、極端に増加させ ないよう、低減に努める。	最小限にしてまとめる。	
	(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧 器等の付属設備については、色彩等に配 慮する。	架台と同系色を使用する。	
敷地の緑化	(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発 揮できるよう、根巻きを行った苗などの 使用を検討するとともに、植栽間隔や苗 木の大きさに配慮する。	種類：レッドロビン 植栽場所：東西接道側一部 高さ：1.2～1.5m 植栽間隔：1m （枝と枝が触れ合う程度の間 隔）	
	(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低 木性の樹種を避け、地域に適した植生と する。	種類：レッドロビン 植栽場所：東西接道側一部 高さ：1.2～1.5m 植栽間隔：1m （枝と枝が触れ合う程度の間 隔）	
その他	(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地 に反射光の影響が懸念される場合は、配置 や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へ い措置について検討する。	シミュレーションを行い、配 置・角度・材料等を検討する	
	(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を 行うなど、適切に維持管理を行い、景観の 保守に努める。	メンテナンス契約をし、定期 的に保守点検を行う。草刈り を定期的に行い景観の保守に 努める。	

なお、上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。